

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	永井 毅
全体計画	平成27年度 ~ 平成29年度		経費区分	実施計画事業費		内線	3625				
事務事業名	10589 体育施設整備事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04022000 スポーツ活動の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費									
	事業	020000 体育施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
市民が安全に体育施設を使用できるよう適切に管理する。						体育施設の経年劣化による大規模改修、利用の利便性向上等を進める。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
市民体育館トイレ改修工事 15,958千円	柔道場屋根改修設計委託 1,000千円 柔道場屋根修繕工事 12,000千円 クレイコート改修工事 4,500千円
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		14,958	17,500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	14,700	0
	その他	0	0
一般財源		258	17,500
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	720.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	720.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		15,678.8	17,500.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	14,958	市民体育館トイレ改修工事 14,958
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,000	柔道場屋根改修設計委託
15節 工事請負費	16,500	柔道場屋根修繕工事 12,000 クレイコート改修工事 4,500
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	スポーツを通じ、健康増進を図り、地域の皆さんの相互交流が活発に行われるように、施設の大規模改修を計画的に実施し、災害時の避難所としての機能強化も図った。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	利用者の皆様からの長年の要望であった、市民体育館トイレの洋式化、バリアフリー化を行い、高齢者や乳幼児のおられる市民も安全、安心して施設利用ができるようになった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	後年度に交付税措置がされる有利な起債の活用により、経費節減に努めた。受益者の負担の見直しとなる使用料の改定については、全市的な検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
市民体育館のトイレを改修、トイレの洋式化、バリアフリー化、男女両方のトイレにベビーチェアを設置し、利用者の利便性の向上と避難所としての機能強化を図った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設の安全性確保、機能維持向上を図るため、今後も計画的に大規模な改修を実施していく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

市民要望も多い中、計画的な維持修繕に努めている。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--